

審議会等の会議結果報告

1. 会 議 名	平成 29 年度第 6 回松阪市環境基本計画策定委員会
2. 開 催 日 時	平成 29 年 9 月 19 日 (火) 午前 10 時から午後 0 時
3. 開 催 場 所	松阪市殿町 1340 番地 1 松阪市役所教育委員会事務局 2 階教育委員会室
4. 出席者氏名	(委 員) 岩崎恭彦 (委員長)、西孝、富田靖男、竹内直子 小坂滋子、横田有香、伊藤覚 (事務局) 荒川環境課長、徳田政策係長、田代主任、土谷
5. 公開及び非公開	公 開
6. 傍 聴 者 数	1 名
7. 担 当	松阪市環境生活部環境課政策係 TFL 0598-53-4425 FAX 0598-26-4322 e-mail kan.div@city.matsusaka.mie.jp

協議事項

- (1) 計画の推進、環境にやさしい行動指針について
- (2) 計画素案について
- (3) その他

議事録

平成 29 年度 第 6 回松阪市環境基本計画策定委員会 議事録

日 時 : 平成 29 年 9 月 19 日 (火) 10 時 00 分～12 時 00 分
場 所 : 松阪市役所教育委員会事務局 2 階教育委員会室
出席者 : 14 名
策定委員 7 名
岩崎恭彦、西孝、富田靖男、竹内直子
小坂滋子、横田有香、伊藤覚
事務局 4 名
荒川環境課長、徳田政策係長、田代主任、土谷
オブザーバー 2 名
鈴木保全係長、創建

〈議 事〉

あいさつ

環境課長あいさつ

委員長あいさつ

1:計画の推進、環境にやさしい行動指針について

委員長 :事務局から説明をお願いします。

※田代主任から第 5 章、第 6 章の修正箇所及び説明。

事務局 :70 ページの 5.1 計画の推進体制の 2 行目の「活用し、事務局である環境課が中心となって施策および」を「活用して施策および」とする。3 行目の「市民・市民団体」を「市民、市民団体」とし、これに関してはすべてページにおいて適用する。73 ページも同様である。

委員 :70 ページの図の中も同様である。

事務局 :75 ページの 6.3 指針の推進の 3 行目の「普及するよう取組を推進」を「普及するよう啓発を推進」とする。

委員長 :第 5 章、第 6 章について質問等があれば発言をお願いします。

委員 :77 ページの 2 番の 2 行目で「水辺環」を「水辺環境」としてください。

委員 :61 ページの (1) 現状の 1 行目に「森林活プロジェクト」とあるがこのままでよいか。

事務局 :これは「森林活 (もりかつ) プロジェクト」と読む。かっこで読み方を掲載する。

委員長 :今は第 5 章の 69 ページ以降についてお願いします。70 ページの 1 行目で「2011 (H23)」とあるが年度が抜けているため「2011 (H23) 年度」と変更してください。ほかにはよろしいか。

委員一同 :はい。

2:計画素案について

委員長 :各章ごとに議論する。まずは第 1 章について説明をお願いします。

※田代主任から説明。

委員 :1 ページの 1 行目の「といった」という表現が適切ではない。「などの」にしてはどうか。

事務局 :文章の再構成を検討する。

委員 :2 ページの松阪市環境基本条例の基本方針の (3) の文章は「及び」が続いているので、修正した方が良い。

事務局 :環境基本条例の第 8 条からの抜粋になるので、このままとさせていただきます。

委員 :4 ページの 1.5 対象とする環境の範囲の図の自然共生のところ、「身近な動植物」とあるが「多様な動植物」にしてはどうか。

事務局 :承知した。

委員 :中間見直し版では章の見出しを 1 マス空けているが、今回は空けないのか。

事務局 :1 マス空ける。

委員 : 4 ページの 1.5 対象とする環境の範囲の資源循環でリサイクル以外のリデュース、リユースがある。この後に 3R の話題が控えているのに、リサイクルだけでは表現不足ではないか。

事務局 : 「リサイクル」を「3R」に変更する。

委員長 : 4 ページの 1.5 対象とする環境の範囲は定義のようなものである。この定義に含まれているものに対してなんら対策がとられていないとすると、それは問題であるので、表現などはもっと先生方の意見を参考にして、慎重にした方がよい。例えば、3R にしても、市が法令に基づいて実際に何か行うのはリサイクルに留まる。それら以外は啓発程度である。環境の範囲が何を意味するのかをもっと慎重に確認すべきである。

委員 : 4 ページの 1.5 対象とする環境の範囲の安全安心・快適の中に田畑についての記載が必要ではないか。

委員 : 記載として漏れているのは確かである。

委員長 : 自然共生に入っていたという説明があったはずである。その趣旨が 4 ページの表から伝わってこない。

委員 : 森林、川、山、海ときているので、あった方がよい。

事務局 : 環境の要素の水循環に入っていると考える。

委員長 : 施策体系を見ると水循環の方ではなく、身近な動植物になっているのが現状。

事務局 : 33 ページの施策テーマでいけば、分野別ビジョンと基本方針の 2 つ目の多様な生き物が暮らすことのできる自然を守り育てるまちの (2) に田畑が出てくる。

委員長 : 確かにそうである。このままの記載でよい。「新エネルギー・省エネルギー」となっているが、前の計画では逆であった。まずは省エネではないか。

事務局 : 「省エネルギー・新エネルギー」とする。

委員長 : 第 2 章の説明をお願いします。

事務局 : 修正箇所をお伝えする。6 ページ (1) 下から 2 行目の「山林」を「森林」と 2 か所変更する。7 ページの下から 4 行目の「日数には」を「日数は」とする。同ページ最後の行の「冬日日数には」を「冬日の日数は」とする。11 ページの (3) 動植物の 5 行目で「生息する地域を」を「生息する地域は」とする。同ページの主な課題の 2 行目「水源かん養機能」を「水源かん養機能など」とする。13 ページから 16 ページは差し替えたが、グラフの年度表記を西暦に変更した。17 ページの 1 行目で「水洗化率」を「公共下水道の水洗化率」とする。同ページの主な課題 1 つ目で「ごみ排出量は僅かに増えており、リサイクル量は減っています。」を「ごみ排出量は減ってきていますが、リサイクル量も減っています。」とする。同ページ主な課題の 2 つ目で「開催などにより」を「開催など」とする。18 ページの (1) エネルギー消費量の 4 行目で「1,034.0TJ」の TJ は単位になるので、注釈を追加する。その下の行の「また、」の後ろに「松阪市の」と追加する。同行の「エコフィスプログラム」を「エコフィスアクションプログラム」とする。その下の行の「実施しています。」を「取組を進めています。」に変更する。20 ページの (2) 松阪市環境パートナーシップ会議の 1 行目の注釈はその後の文章と内容が被っているため削除する。2 行目の「市民・市民団体」を「市民、市民団体」とする。同ページの主な課題の 3 つ目の最後で「あります。」の最後が消えているので修正する。22 ページの表の目標値の下から 2 つ目と 3 つ目の「減らさない」を「増やさない」とする。同表の達成状況の下から 4 つ目で「909」を「905」とする。その 2 つ下のかっこ内が「平成 22 年度」とあるが、なぜ平成 22 年度かを説明する注釈を入れる。23 ページの 2 行目の「下表の」を「次の」とする。同ページの基本目標 1 主な成果の 2 つ目で『「まつさか」の木』を『「まつさかの木」』とする。24 ページの基本目標 4 の主な課題 2 つ目「天然記念物～継続実施」を基本目標 2 の同じ場所に移動する。

委員長 : 説明のあった箇所以外の意見をお願いする。パブリックコメントが直前に近づいている施策の中身に関わるような箇所はパブリックコメントにかけなければならないが、現状の部分については、パブリックコメント後に修正も可能である。

事務局 : 現時点では間に合わないので、他の部分も含めてパブリックコメント後に修正を検討する。

委員 : 9 ページの三重県の森林分布は不要ではないか。10 ページの主な 1 級・2 級河川の現況に水系図を加えて番号を振ればもっと良くなるのでは。

事務局 : 市内の水系図を探すことも含めて検討する。

委員 : 12 ページの (1) では、典型 7 公害のうち、大気汚染、水質汚濁の記載はあるが、土壌汚染、騒音、振動、悪臭、地盤沈下について触れられていない。

事務局 : 記載を検討する。

委員長 : 環境基本計画に載せるべき項目と個々の年度ごとの報告書に記載すべき項目を整理できると思うので、そこを含めて検討をお願いします。

委員 : 23 ページの基本目標 2 の主な成果 4 つ目「海底耕うん」とあるが、これでよいのか。

委員 : 一般的にはひらがな表記である。

事務局 : 農水振興課に確認する。

委員 : 6 ページ (2) の 4 行目で「単身世帯の」とあるが「単身世帯が」ではないか。

事務局 : 変更する。

委員 : 10 ページの出典資料の環境調査報告書は松阪市のものか。

事務局 : 松阪市のものである。

委員 : 12 ページの 10 行目の「ランクイン」は適切ではないように思うが。

事務局 : 表現を改める。

委員 : 13 ページの (2) の 2 行目で「身近な苦情 (草木など)」だけでは何のことかわからない。

事務局 : 検討する。

委員 : 21 ページの図表で満足と不満に分けているが、無回答を不満に含めて考えるのは違うのではないか。

事務局 :5 割の数字には含まれていないが、図表が視覚的に紛らわしいので表現を改める。

委員 :20 ページの (1) で学校環境 ISO を中学校は受けていないところがあるのか。65 ページの行政の取組目標で ISO の認定は全小中学校となっている。

事務局 :確認する。

委員 :13 ページと 18 ページのグラフは白黒だと色分けだと見にくいので、網掛けにするなどの対応をしてはどうか。

事務局 :13 ページは差し替えでできるだけ対応したが、18 ページについては表現を検討する。

委員 :18 ページの図の活動項目別エネルギー起源 CO2 排出割合の電気のところにごみ焼却の割合も入っていたが。

事務局 :確認する。

委員 :12 ページの上の表の光化学オキシダントは 2007 年からずっと環境基準を満たしていないのか。

事務局 :この数値に関しては瞬間的に上がりやすいものである。県内のほとんどの場所でオーバーしている。1 時間 0.06ppm を超えると基準値オーバーとなる。平成 28 年において、松阪市では、398 時間基準値をオーバーしている。

委員 :8 ページの (5) 産業構造で CO2 排出量の絡みから触れていくと分かりやすいのでは。

委員 :26 ページのコラムの文章がわかりにくい。

委員長 :コラムは知ってもらいことをピンポイントで書く方がわかってもらいやすいので、検討をお願いします。

委員 :不必要な情報が多い。

事務局 : 検討の上、修正する。

委員長 : 第 3 章について説明をお願いします。

事務局 : 初めに修正箇所をお伝えする。28 ページの 2 行目で「めざすこととします。」を「めざします。」とする。同ページの下から 2 行目で「次代」を「次世代」にする。29 ページの (3) の基本方針のカギかっこ内の中黒を削除する。これ以降の表現も同じように修正する。31 ページのちゃちゃもの吹き出しの中の 80g についての説明をわかりやすくなるように追記する。同ページ下から 5 行目で「つながっています。」を「つながっていきます。」とする。32 ページの表の環境目標の下から 5 行目で「一人一日あたり」を「1 人 1 日あたり」とする。同ページの環境目標の下から 4 行目の末尾に「(電気)」を追記する。

委員 : 27 ページで「分野別」が続いている。

事務局 : 前の「分野別の」を削除する。

委員 : 同場所の「環境像と、」の句点は不要ではないか。

事務局 : 削除する。

委員 : 31 ページの自分のこと化の 3~4 行目「少なからずいると考えられます」を「少なからずいると思われます」としてはどうか。

事務局 : 修正する。

委員 : 31 ページの自分のこと化の最後の行「つながっていくものです」という表現はおかしいのではないか。

事務局 : 「つながっていきます」と変更する。

委員長 : 29 ページの基本方針の書き方が 33 ページの体系図と表記が違うので統一を図ってください。

委員 : 29 ページの今の表現だと〈基本方針〉が目立たないし、わかりにくい。

事務局 : それぞれの施策の取組を一言で示したものが基本方針である。分野としてわかりやすいように、自然共生などの文言を記載している。

委員長 : 環境の範囲に対応している。意味がないわけではないが、基本方針そのものではないし、あるとわかりにくい。消してはどうか。

事務局 : 一度消した状態で提示する。

委員長 : 第4章について説明をお願いします。

事務局 : 40ページの自分のこと化の3つ目の文頭に「川や海での」を追記する。43ページ自分のこと化の3つ目で「ゴミ」を「ごみ」とする。47ページ(2)課題の「公害発生種類～」から始まる最後の2行を文頭に持ってくる。51ページの(2)課題の最後の行で「全国および三重県内の平均」を「全国の平均」とする。53ページの環境目標の2つ目で「一人一日あたり」を「1人1日当たり」とする。58ページの環境目標1つ目で末尾に「(電気)」を追記する。60ページのコラムがクールビズしかないので、内容を検討する。61ページの(1)現状の1行目「森林活プロジェクト」を「森林活(もりかつ)プロジェクト」とする。62ページの自分のこと化の下の空白にバイオマスに関するコラムを掲載する。65ページのコラムの6行目で「環境の発信」を「環境に関する情報の発信」とし、コラム内の写真を差し替える。66ページの2行目で「次代」を「次世代」とする。自分のこと化全体を通して「市民団体」の表記が抜けているので追記する。

委員 : 42ページの(2)課題で「近年低地に出没するニホンカモシカ」という表現は、ニホンカモシカが低地の方へ生息地が変わっているように受け取る事が出来る。

事務局 : 生息環境の変化によるニホンカモシカの低地への出没というような表現を検討する。

委員 : 52ページの(4)行政の取組の3つ目の「箇所」と自分のこと化3つ目の「個所」の表記を統一した方が良い。59ページの(4)行政の取組目標の2つ目で「市の公用車の低公害車導入」とあるが、その後続く分数の表現がわかりにくい。60ページの自分のこと化6つ目の「日中」という表現では昼間だけでよいとの印象を受ける。

事務局 : 「日中の」を削除する。

委員 :58 ページの環境目標の下の※印は不要である。43 ページのコラムの 7 行目のヌートリアは市内での生息は確認されていない。また、外来種で言えば、ブラックバスの対応なども明記してほしい。

委員 :63 ページの環境目標の目標値は累計値にした方が良いのでは。

事務局 :32 ページの環境目標の 2 つ目のように、数字が出るところはすべて年度単位の物と累計値を併記することを検討する。

委員 :67 ページの自分のこと化の 2 つ目では「松阪市 3R サポーター」となっているので、同ページ (4) 行政の取組目標の 1 つ目と統一してはどうか。

事務局 :承知した。

委員 :57 ページのコラムの食品ロスについて、この表現では一般の人にわかりにくいのでは。

事務局 :説明の仕方を検討する。

委員 :43 ページのコラムで外来の魚について触れてはどうか。

委員 :追加できるのであれば、記載してはどうか。

事務局 :外来の魚については触れることを検討する。

委員長 :以上でよろしいか。

委員一同 :はい。

3:その他

委員長 :その他について事務局から願います。

事務局 :次回の委員会の日程についての確認をしたい。12 月 21 日の午後 3 時 30 分からでよろしいか。今回議論いただいた素案の内容が大きく変わることがなければ、12 月の委員会で最終の素案を示すことになる。ただ、大きく変わることがあれ

ば、10月11月中に委員会をお願いしたい。次回の日程は12月21日でよろしいか。

委員一同：はい。

事務局：では次回を12月21日午後3時30分に5階特別会議室で行う。

委員長：これにて本日の委員会を終了とする。